

各教育事務所の調査結果

上益城教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
- 2 質問紙調査結果と分析
- 3 今後の取組

1 (1) 小学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと
関連問題 A1ー(3)
目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くこと
関連問題 B1三

算数 成果が見られた内容

小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えること
関連問題 A1(1)
平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解すること
関連問題 B1(2)

理科 成果が見られた内容

メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けること
関連問題 3(5)

課題

国語 課題が見られた内容

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えること
関連問題 A5二
目的に応じ、中心となる語や文を捉えること
関連問題 B2ーア

算数 課題が見られた内容

180°や360°を基に分度器を用いて、180°よりも大きい角の大きさを求めること
関連問題 A4(1)
示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述すること
関連問題 B2(3)

理科 課題が見られた内容

方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析すること
関連問題 4(1)

1 (2) 中学校の成果と課題

成果

国語 成果が見られた内容

文脈に即して漢字を正しく読むこと
関連問題 A9二2
文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えること
関連問題 B2二

数学 成果が見られた内容

正の数と負の数の乗法を理解すること
関連問題 A1(3)
与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断すること
関連問題 B6(1)

理科 成果が見られた内容

天気の記号から風向を読み取り、風向計を使って風向を観測すること
関連問題 2(2)

課題

国語 課題が見られた内容

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと
関連問題 A9三才
効果的な資料を作成し、活用して話すこと
関連問題 B1二

数学 課題が見られた内容

等式を目的に応じて変形すること
関連問題 A2(3)
資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
関連問題 B5(2)

理科 課題が見られた内容

グラフを分析して解釈し、化学変化について正しく読み取ること
関連問題 1(4)

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な17項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
等 関心	1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	62.8	65.5	65.8	55.3	56.3	58.0
(言語活動・学習状況) 学習状況	2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか	52.2	50.2	51.2	47.8	43.6	49.6
	3. 5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	71.6	74.7	74.2	65.1	65.1	65.7
	4. 5年生(中学2年生)までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	93.0	89.0	87.1	92.6	83.1	73.7
	5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	79.5	77.6	75.3	62.8	60.1	59.3
	6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む) 1時間以上の合計	54.1	63.8	56.7	71.2	75.7	68.7
学習時間等	7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	59.7	61.2	62.8	49.6	43.8	48.8
	8. 家で、学校の授業の予習をしていますか	37.4	41.3	43.4	31.1	29.9	35.3
	9. 家で、学校の授業の復習をしていますか	56.2	60.3	54.5	52.4	53.0	52.0

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な17項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
生 学 活 校	10.あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか	80.6	78.3	80.5	78.6	77.1	78.3
習 生 慣 活	11.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォン で通話やメール、インターネットをしますか(2時間より少ない)	90.7	92.2	90.2	71.5	75.3	68.4
地 域	12.今住んでいる地域の行事に参加していますか	76.9	73.5	66.9	52.5	40.8	44.8
社 会	13.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	79.2	82.8	84.3	83.8	82.8	83.9
将 来	14.将来の夢や目標を持っていますか	84.5	87.6	86.5	73.5	71.4	71.7
自 尊 意 識	15.ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.0	94.4	94.5	94.1	93.9	94.2
	16.難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	75.5	75.9	76.4	65.0	64.2	68.8
意 規 識 範	17.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.6	96.8	96.2	96.1	94.7	93.7

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。
単位(%)

	質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
向上力	1. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	45.8	46.7	61.1	25.0	56.2	80.2
指導方法	2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	95.8	97.0	93.9	75.0	91.1	90.9
	3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか	100	96.1	94.1	100	85.8	81.9
	4. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け、児童(生徒)に伝えるなど積極的に評価しましたか	91.7	96.4	96.7	87.5	96.4	95.8
言語活動	5. 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	54.2	63.0	66.1	37.5	55.6	67.3
	6. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	87.5	95.3	94.3	100	92.9	92.1
	7. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	66.7	76.0	73.0	50.0	59.2	63.3
	8. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	87.5	89.0	85.9	75.0	76.3	78.1
	9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	95.8	94.2	91.9	87.5	85.2	87.8

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位 (%)

	質 問 項 目 (県と全国との差が顕著な 1 8 項目を抜粋)	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
援 特 教 別 育 支	10. 特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫 (板書や説明の仕方、教材の工夫など) を行いましたか	91.7	93.9	89.2	87.5	93.5	86.3
導 個 別 指	11. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	54.2	40.1	32.4	25.0	37.9	25.3
家 庭 学 習	12. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか (国語 / 数学共通)	87.5	78.4	79.5	75.0	61.6	66.1
	13. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか (国語 / 算数・数学共通)	87.5	84.8	87.1	75.0	77.5	78.5
調 査 等 の 活 用	14. 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	97.8	95.8	100	94.1	93.2
	15. 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む)	83.3	86.5	88.0	75.0	81.7	83.9
	16. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.3	91.9	100	92.9	87.9
職 員 研 修	17. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	95.8	96.6	95.5	87.5	92.4	87.5
	18. 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか (年間 9 回以上)	70.9	70.4	49.4	50.0	56.3	34.5

2 (3) 質問紙調査に関する分析

「全国学力・学習状況調査結果を分析し、保護者・地域と連携しながら自校の教育活動を工夫・改善していくこと」について、校長会議や学校訪問等で啓発・指導を行ってきた結果、昨年度より10ポイント以上改善した。

「見通しのある授業づくり」「ノート指導」について、学校訪問や校内研修等で啓発・指導を行ってきた結果、全ての教員が「ノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書く」ように指導するようになり、「書いていたと思う」と答えた児童生徒の割合も小中学校ともに9割以上となった。さらに成果を上げるために、毎時間の目標、めあて、まとめ、評価を連動させること、そして、良い授業を見て学ぶ必要がある。

児童生徒自らが計画・実践する家庭学習を推進してきた結果、自分で計画を立てて勉強する児童生徒が増えた。（小学生6割・中学生5割）

一方、「授業の予習や復習をしている」と答えた児童生徒の割合は、本年度も6割に満たなかった。

学校が休みの日の家庭学習時間の確保と併せて、家庭学習の仕方について継続して指導する必要がある。

3 今後の取組

学力向上の検証改善サイクルの好事例を管内に広めていく。(10月教頭研修会等)
学校訪問、校内研修派遣事業等において、以下の点を指導する。

* 「分かる・楽しい」授業づくりに向けた授業改善

・授業の流れ

導入(前時の復習) ~ 展開(一人学び・学び合い) ~ まとめ(適用問題)

・学習の流れが見える板書(めあて・まとめの明示)、ノート指導

・ICT等を活用した視覚的支援

* 家庭学習支援・・・授業内容に応じた家庭学習課題(予習・復習)

* 読書習慣の育成・・・一斉読書(一言感想)、家庭読書の推奨

学力サポート事業を推進、拡充する。(各町教育委員会の要請)

* 学力向上アドバイザー派遣；10校(1～2回/月) * 指導主事派遣；10校(3回/年)

・各学校の学力向上プランへの支援、課題解決に向けた取組の検討

・指導案及び授業参観指導、ユニバーサルデザインの視点による授業づくり、学習環境づくり

町教育委員会、郡校長会等との連携を強化する。

・教育対策会議(3回/年)・町学校教育指導員等連絡会(3回/年)

・校長会アクションプラン ・郡教科等研究会(理事長研修会、他)